

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月1日

事業所名:児童発達支援・放課後等デイサービス幸

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		車椅子利用と自立歩行児童の遊び場を分けている	
	2	職員の配置数は適切である	○		シフトを決める際、利用児童人数見てから職員人数決めていく	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		遊ぶ場所と食べる場所、リラクスの時間など分けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日終了後の掃除、アルコール消毒。トイレはハイターで拭き掃除している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日児童の気になる点・支援方法について、ミーティングで話している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		ホームページで公表し意見があった物に対し職員で話している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		改善しなければならない点については改善策もホームページで公表します。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		相談支援員が付いている児童は担当者会議などで評価して頂いている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		他事業所の研修に参加し報告書で伝え話しをしている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		ニーズ整理表で本人・保護者の思いを聞きスモールステップで少しずつ。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントを行い、数枚のアセス表を作成している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		具体的な支援内容記載し、保護者に確認してもらい、職員全員把握している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		1日行った支援内容を記録している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラム1日の流れなど朝のミーティングで発表している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動内容固定されている方が安心な児童もいる、その細かな内容に変化をつけていく	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		児童に合わせて行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		児童が来るまでに気になる点や引継ぎ報告している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		必ず打ち合わせはしていないが報告ノートで次の日に話している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録を付けている、同じ職員が書かないようにしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1度は必ず行っている時には、活動中職員で見直しを行う。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者がさんかしている、報告行い報告書の作成	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関に関わりのある児童に対しては行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		現在医療的ケアが必要な児童はいない。	訪問診療や、訪問介護を利用している児童に関しては、担当者会議やリハビリ見学で学校の先生と一緒に報告してもらっている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現在医療的ケアが必要な児童はいない。	訪問診療や、訪問介護を利用している児童に関しては、担当者会議やリハビリ見学で学校の先生と一緒に報告してもらっている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		担当者会議を行うケースもあり、児童のデイでの様子や支援内容を作成し提出しているケースもある。	児童全員ではない為、今後検討が必要と考えている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		担当者会議を行うケースもあり、児童のデイでの様子や支援内容を作成し提出しているケースもある。	支援内容やデイでの様子をまとめ学校側への提出をかんがえています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		子ども部会に参加し話し合いや交流を行い相談している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	地域の祭りで年に1度交流はある。	子供園や幼稚園へ皆で行くことはないが、今後祭りなどのイベントで交流の機会を作ることも検討。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		子ども部会に参加し話し合いや交流を行い相談している。研修会にも参加。	今後も定期的に参加させて頂きます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時、連絡帳で気になる事について話させてもらっている。保護者からの話も聞いている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		必要に応じて行っている。		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時などは話させて頂いています。問い合わせあれば説明を行います。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約までにニーズを聞いて整理し初回利用までに支援計画内容を説明し同意頂ければサインをもらっています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的ではないが、保護者から相談があれば、その都度対応させて頂いています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	父母の会、保護者会をしていません。また保護者からの希望もなかったです	保護者より希望あれば、交流会など考えていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		文字や連絡帳で伝わりにくい場合、電話や直接会ってお話させて頂いています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページなどで発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		ホームページなど活動内容など写真を載せる際顔は映らないようにしてい	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		文字や連絡帳で伝わりにくい場合、電話や直接会ってお話させて頂いている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討。年に1度のお祭りなどで。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルは用意していて職員は一通り目を通して	保護者には、周知できていない。防犯マニュアルに関してはしっかり訓練が必要です。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		半年に1度程度、遊びの中に取り入れ行っているが本格的に行うべき。	今後定期的に行うようにする。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		お薬の説明書など頂いて、保護者の方にも状況を聞いている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	今の所食物アレルギーのある児童がいない。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットをファイルし保管いつでも職員が見れるようにしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待についての話を耳にした際は職員間で話し合っている。研修など報告。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		同意書あり説明・確認・理解を得ている。支援計画に記載はしていない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。